

原発事故被災者 相双の会

連絡先

國分富夫(会長代行)

住所

〒965-0013 会津若松市堤町6-12

電話 090(2364)3613

メール

kokubunpi-su@hotmail.co.jp

事務局

鈴木宏孝 090-2909-6133(浪江)

坂上義博 090-1067-7265(大熊)

板倉好幸 090-9534-5657(南相馬)

山津見神社全焼、飯館村民に衝撃

4月1日午前1時40分ごろ住居と拝殿が全焼。飯館村は原発事故により全村避難しています。原発事故がなかったら火事にならなくても済んだかも知れません。

山津見神社は飯館村民ばかりでなく相馬地方、双葉地方はじめ遠くからの参拝者が多く来ます。



山津見神社は山の神を祭る神社で、山神は山仕事の守護、および農業の守護、産業守護などを司ります。また、山津見神社の眷属は白狼であり、御眷属様と呼ばれて信仰の対象となっています。御眷属の狼は、火伏せ、また盗賊除けの力があり、道中の安全を守るお使いと信じられています。



3.23 脱原発福島集会 あづま総合体育館

また孤独死—誰が責任を取るのか

この会報作成中ニュースが流れてきました。60代の男性が二本松市の仮説住宅で孤独死です。また孤独死かと思うと寂しく悲しくなります。国策として進めてきた原発事故の責任として、東電に、せめて家族と生活できるような賠償を一刻も早くさせるのが国会の責務です。「時効」で事実上被災者を切り捨てるなんて許せません。国会議員が立候補するときは「福島県の復旧復興と被災者の生活再建のために頑張る」と言って来たではないか。





どうしたら いいのでしょうか？

仙台在住 小高 A

ご無沙汰しております。

いつも、相双の会の会報をありがとうございます。先日、2月3日の住民説明会には私も出席させていただきました。少しは期待もあり参加したのですが、行政や国や東電のあまりにも責任のなさにとてもがっかりするばかりでした。

結局は、何も変わっていない。何も解決などできていない。

もう、我慢は限界にきています。

自分たちで生活設計をして、将来を見据えてせつかく建てた家には住めず、いまだ6畳2間に4人で狭い生活を続けているのです。子供たちは大きくなり狭くて息が詰まりそうになります。私たちは何をしたわけでもありません。ただ、あの事故がなければ普通の生活ができていたのです。普通の生活を今すぐにでも取り戻したい。それが願いです。

この度の、損害賠償問題の号外を拝見して、ますます東電を許せないと感じました。

私たちはどうしたらいいのでしょうか？

裁判と聞くとなんだか踏み入れるのが怖いように感じます。でも本当に、どうしたらいいのかわからないのです。

何かアドバイスがあったらお願いいたします。

*** 損賠問題の特集した「相双の会」報号外は反応がものすごく、続々と問い合わせや相談が来ています。そのうちの一つです。次号以降でも紹介します。また損賠問題にかかわる悩み、意見をお寄せください。**

避難生活2年が過ぎて

会津在住 F

あれから2年が過ぎました。

「落ち着きましたか？」と聞かれれば「おかげさまで落ち着きました。」と答えるようになりましたが実際はどうなのでしょう？

私は不動産の賠償についてどうしても納得できない点があります。

東電は宅地、建物について価値の減少分を賠償するというので、それはその通りだと思うのですが、問題は6年過ぎれば全損扱いとするという考え方です。例えば3年で避難指示が解除になれば72ヶ月分の36ヶ月で半分だという考え方・・・本当に減少したのは半分だけなのでしょうか・・・？残った半分の価値は誰が認めてくれるのでしょうか・・・？

私はすぐにでも、不動産について全額賠償を認めるべきだと考えています。

今回の原発事故で失ってしまったものは数多くあると思います。その中で誰にも共通するものは『時間』だと思います。

私は自宅を新築して8ヶ月であの震災に遭ってしまいました。自分達にできる範囲での理想の念願のマイホームでした。子供達の部屋を作り、成長を見ながら楽しく生活するはずだった時間。幸い地震や津波の被害はほとんどなかったのですが、マイホームで生活する時間はもう2年、失われてしまいました。代わりに会津での思い出ができたのでしょうか・・・取り戻すことのできない2年間。そしてそれはこれからも続きます。

普通、生活というのは将来のことを考え希望や目標をもって積み重ねていくものだと思います。でも今の自分はどうかというと、先のことはなるべく考えないようにしていることに気がきます。

このままここで生活することを考えると「住ん

でいなくても住宅ローンは払っていくしかない。新たにマイホームは無理だろうな。借り上げ制度が打ち切られたらどうすればいいのか?」と思い、自宅に戻ることを考えると「子供達の学校はどうする?転校させたくないな。将来、子供達に差別や偏見、健康被害はないだろうか。自分が働く場所はあるのだろうか。病院はあるのか?」とか・・・どちらにしても不安があるだけで、希望は今のところ見えて来ません。考えると余計に不安が増すばかりです。

会津の人達は優しく、生活環境も正直なところこちらのほうが利便性もあります。ただ、先を見ないようにしていつまで生活しなければならぬのか・・・早く決断をしたいところです。決断させてもらいたいです。

それぞれの状況や希望に応じた、生活や賠償の早期実現を強く願っております。

千葉県から大勢が視察に、 私たちの苦しみを受け止めて帰りました

4月6日、千葉県の生活協同組合の「なのはな生協」から50人の方々が、相双に視察に見えました。相双の会の会員で案内をしました。

たくさんの感想が寄せられましたので、その一部を紹介します。

子供達に伝えたい

「自分の目で見た福島を子供達に自分の言葉で伝えたいと思い参加しました。…自宅に戻り、子供達にも写真を見せながら話をしました。よく理解できたかは分かりませんが、ママはショックを受けたということは伝わったと思います。私自身もゆっくり整理して、子供達に福島のこと、原発のことを伝えていきたいと思います。」(M・女性)

胸が締め付けられる思い

「櫛葉をこの目で見て、あらためて放射能の恐ろしさを感じました。人間も動物もいなく、荒れ

ほうだいな田畑、胸が締め付けられるような思い。……原発はいらないという一人でも多くの仲間を結集し、反対していかなければと強く感じました」(K・男性)

出来ることから行動に

「二年をすぎて、はじめて現状を目前にし…今後をも含めて『現地』を見るのが私にとって欠かせない体験であることを痛感しました。…見ることで、知ることにより、私に出来ることを、行動に移してゆきたいと思います」(O・女性)

自分の無智に愕然

「富岡駅で…白装束の完全防御姿の4～5人が写真を撮ったり線量を測ったりしている姿を見て自分の無知さかげんに愕然とした。…2年前と何も変わらず『収束』もせず、人も動物もすむことができない街が厳然とここに存在しているのだ。そうであるにもかかわらず、野田、安部政権の罪は深い。…小さな声であるとしても、伝えていく、知らせていく作業を心ある人々は行っていかなくてはならない」(N・男性)

忘れない、絶対忘れない

「人一人居ない道路、子供の声さえも聞くことなく、生活をしている姿さえも見ることもなくバスは走る。地元の国分さん、バスの中より、あそこのラーメン上手いよ、反対側の窓の外を、あそこの居酒屋さんよく来たよ、仕事を終えて仲間との飲み会を思い出したか、楽しかった日々を。でも私には淋しさも伝わって来ました。…日常の楽しみさえうばった原発。忘れない、絶対忘れない」(A・女性)

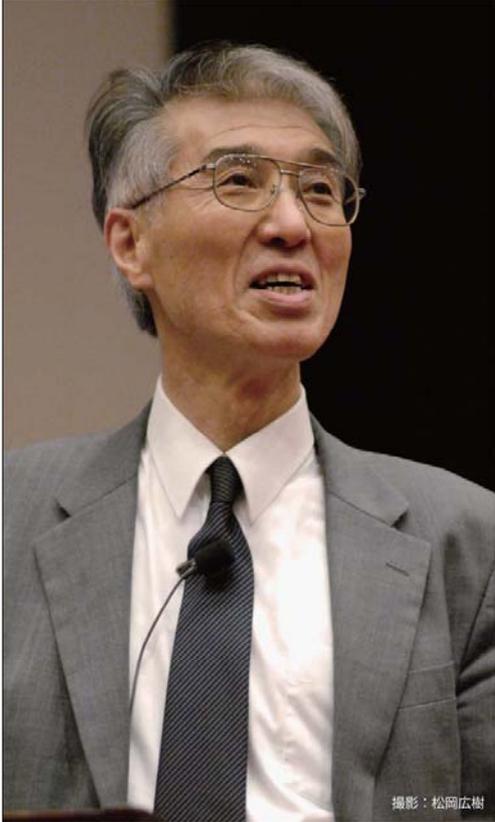
現状を多くの人たちに分かってもらいたい

「世の中でどんどん風化されている震災の事、特に日本の経済の為、原発再稼働をどうしても阻止しなければ、子供たちの為、日本の未来の為、脱原発を是非やらなければと思いました。この現状を少しでも多くの人たちに分かってもらえるようにしたい」(S・女性)

以下次号に紹介します。

6・22

小出裕章講演会においで下さい！



撮影：松岡広樹

放射能から市民を守る講演会

「原発いらない」

大切なのは「電力」ですか？
愛するひとたちの命ですか？

■ 講演 **小出 裕章**
(京都大学実験所助教)

■ 日時 2013年6月22日(土)
13:00 開場 13:30 開演

■ 場所 南相馬市民文化会館
(ゆめはっと)

■ 主催 「原発いらない」放射能から市民を守る講演会実行委員会

■ 後援 南相馬市/J A相馬農業協同組合/小高行政区長連合会/鹿島行政区長連合会
河北新報社/福島民友新聞社/福島民報新聞社/はらまち九条の会/おだか九条の会

■ 連絡先 南相馬市原町区南町3丁目45(白川 淳) 090-2364-3613 (國分富夫)

原発事故により私たちの故郷が破壊されてしまいました。農林業・畜産業・漁業が大打撃を受けました。特に子どもたちが心配です。子どもを守るのは大人の責任です。

小出裕章先生は、一貫して原発の危険性をうったえ、国民の安心安全を第一に考えてきました。是非講演を聴いて、皆さんの日常生活での判断材料にしましょう。

「相双の会」会報に 皆さまからご意見を寄せて下さい

是非ご投稿をいただき「声」として会報に載せたいと考えています。

どんなことでもいいです。日ごろ思っていることを打ち明けてください。匿名でもけっこうです。どうかこの機会にみんなでお話し合ってください。話し合った内容をご投稿頂ければ素晴らしいです。

連絡先 電話 090 (2364) 3613 メール kokubunpi-su@hotmail.co.jp (國分)